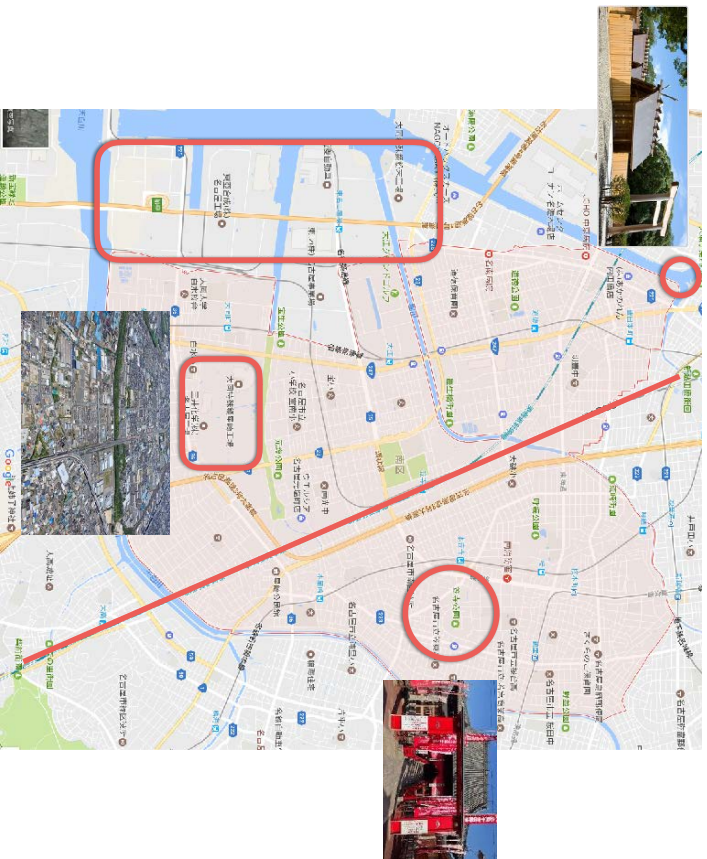


南区の歴史

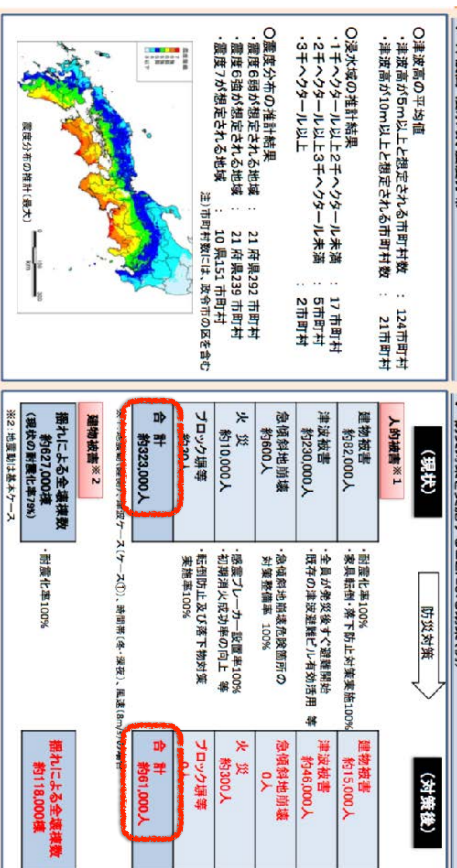
- 1908年 南区誕生
- 1921年 呼続町および笠寺村が編入される
- 1937年 南区から熱田区・中川区・港区・昭和区（一部）が分區。現在の南区が形成される。
- 1959年 伊勢湾台風 甚大な被害を受ける
名古屋市の死者・行方不明者数1851人のうち南区はその76.5%、伊勢湾台風28%にあたる1417人が犠牲になった
- 1964年 大同大学設置
- 1978年 帝人名古屋工場閉鎖
- 1987年 名古屋市総合体育館（現在の日本ガイシ）スポーツランド
- 1994年 地下鉄桜通線が野並駅まで開通 南区内に初めて地下鉄
- 2000年 三菱自動車工業大江工場が閉鎖 / 東海豪雨 天日川
- 2004年 地下鉄 名古屋大学新瑞橋間開通
- 2010年 イオンモール新瑞橋オープン
- 2012年 南区豪雨 東海豪雨をこえる時間雨量98.5mmを記録

伊勢湾台風 (台風15号)
1959年9月26日
死者・行方不明者 5,098名
災害対策基本法 (1961年)
制定の契機となる



南海トラフ巨大地震 被害想定と対策

南海トラフの巨大地震による津波高等・被害想定 と 防災対策による軽減効果 (人的・建物被害)



台風後の南区



貯木場



調査対象5学区



南区学区地図
(全18学区)
平成25年4月現在

(3) 死者数 (あらゆる可能性を考慮した最大ケース)

区名	建物倒壊等	津波		火災	合計
		うち 自力脱出困難	うち 津波からの逃げ遅れ		
千種区	約30	-	-	-	約40
東区	約30	-	-	-	約30
北区	約90	-	-	約30	約100
西区	約100	-	-	約30	約200
中村区	約400	約300	約10	約100	約800
中区	約40	-	-	約10	約40
昭和口区	約40	-	-	約10	約50
臨海区	約40	約30	約40	-	約110

(単位：人)

減災効果

次のような対策を行うことで被害を最小限におさえられます。

- 建物の耐震化100%
- 家具等の固定対策100%
- 発災後、早期避難開始
- 津波避難ビルの有効活用

